

購読の申し込みは  
**日本医労連へ**  
購読料 年間1,500円(送料込)  
(組合員の購読料は組合費に含む)  
送金口座 中央労金荒川支店(普通預金)1123296  
郵便振替00160-6-84866  
ホームページ <http://www.irouren.or.jp/>  
電子メール [n-ask@irouren.or.jp](mailto:n-ask@irouren.or.jp)

# 医療労働者

医療・介護・福祉労働者の生活と権利、国民の命と健康を守る

第1821号 2024年2月22日  
編集・発行  
日本医療労働組合連合会  
〒110-0013 東京都台東区入谷1-9-5  
日本医療労働会館3階 TEL03(3875)5871  
発行 毎月2・4木曜日

(昭和36年9月15日  
第三種郵便物認可)

## ストライキってなに??

「ストライキの手引き」で理解を深めよう!

日本医労連では、学習資料「ストライキの手引き」を作成し、活用を呼び掛けています。24春闘での大幅賃上げ実現にむけて、しっかり準備して回答指定日に備えましょう。手引きの内容の一部を紹介します。

### (1) はじめに

ストライキは、憲法で認められた労働者の当然の権利です。経営者と「対等」の立場に立ち、要求を前進させる有効な手段がストライキです。

私たちは、医療・介護労働者が置かれている低賃金・劣悪な労働条件を改善し、国民の医療・介護・福祉・社会保障を守るために経営者(使用者)・自治体・政府に要求書を提出し、要求実現のために交渉を重ねます。しかし、経営者(使用者)などが誠意ある回答を行わない場合、全国の仲間と連帯し、ストライキに取り組むことは、切実な要求を実現する上であたりまえのことといえます。経営者(使用者)などが、誠意ある回答を示せば、ストライキに入る必要はありません。

ストライキに入るも入らないも経営者(使用者)の姿勢次第。ストライキを実施するのは、要求前進のためです。「この要求だけはどうしても譲れない」と組合員全員が一致団結することが重要です。

### (2) ストライキってなに?

ストライキは、労働者による争議行為の一種で、雇用側(使用者)の行動に反対して被雇用側(労働者あるいは労働組合)が労働を行わないで抗議することです。国の最高法規である日本国憲法で「国民の権利及び義務」を定めた第3章28条に「勤労者の権利」として、『勤労者の団結する権利及び団体交渉その他の団体行動をする権利は、これを保障する』として、いわゆる「労働3権」の団体行動権に、ストライキが含まれています。

### (3) ストライキで職場を変える・国の政策を変える!

ストライキはその病院と労働組合の労使関係の中で行われるものですが、公益事業である医療・介護の場合、多くの要求が診療報酬や介護報酬など国の制度との関わりがあります。また、私たち医療・介護労働者のストライキは、政府の医療費などの削減政策と対峙する側面も持ちます。政府の社会保障予算の削減方針によって、患者・住民は地域の医療提供体制をはじめ、保険料の引き上げや、保険給付の縮小など大きな被害を受けています。低賃金や過重労働では、医師や看護師等が退職し、病院存亡の危機にもなります。

私たちのストライキの決行は、政府の政策と方針に対するアピールでもあり、患者・住民のみなさんに大きく宣伝して運動を広げ、支援を求めていく必要があります。

医療・介護現場のストライキ、とりわけ日本医労連の統一ストライキの場合は、医療・介護労働者の置かれている状態や、医療・介護・福祉問題などをアピールし、それらを守る運動の一環と位置付けて実施していく必要があります。

ストライキの手引き



2024年2月  
日本医療労働組合連合会



## 早めの準備と意志統一 24年春の仲間ふやし交流集会

## 成功させよう 「100%加入」

すべての単組・支部で「仲間ふやし」の体制を  
2月10日、日本医労連は加盟組織の単組・支部を対象に春の仲間ふやし交流集会を開催しました。  
日本医労連の1000近くある単組・支部が支援し合いながら、医労連の仲間ふやしに取り組み、春の拡大月間の拡大目標1万5000人の達成も不可能ではないとして、「新人加入100%」をはじめとする組織拡大月間の取り組みを成功させようと思統一しました。

24春闘は組織拡大の好機  
コロナ禍以降、医療・介護現場では人員不足や過重労働が続く、そのことがハラスメントなど新たな問題を生み出す悪循環に陥っています。さらには、異常な物価高騰にもかかわらず、医療・介護従事者の賃金だけが上がらないことへの不安や怒りが鬱積しています。一方で、23春闘以降労働組合のたたかいで医療・介護の現場にも「賃上げ」の情勢を切り開いてきました。集会では、24春闘は仲間をふやす「絶好のチャンス」だ

増勢の力ぎは  
日本医労連が行っている2つの組織調査を照らし合わせると、「年7回以上」の拡大報告がある単組・支部の半数以上で年間の組合員数が「増勢」となっているという結果が表れています。一方、調査対象となった約900の単組支部のうち、年間の拡大月数が「1回以下」の組織が7・8%に及んでいます。また、4月期に新歓に取り組んでい

る単組・支部は3割前半に落ち込んでいます。こうしたデータを踏まえ、集会では「職場の中での取り組み(毎月拡大)を増やすこと」や「単組同士が協力して「新歓」に取り組む組合を増やすこと」が「増勢の力ぎ」であると提起されました。

たロールプレイによる練習方法が学べます。事前の計画、当日の人員配置、そしてロールプレイと、事前の準備を万端にして新人加入100%を成功させましょう。  
※動画はこちらから(限定公開なので組織内での使用にとどめて下さい)



## 脈路

皮肉なことに、家族が集まって1年の門出を祝う機会が人生の明暗を分けた。一月月たつても全容がわからないという。今回の震災の最大の難関の一つが道路だ。しかし、まったく最初から何もなかったわけではない。能登鉄道が穴水から一番の被災地、珠洲まで走っていたのだ。2005年に廃線となった石川県保協は、全自治体をまわる社協協キャラバンを年に1回、20年以上行っている。能登の自治体との懇談では、様々なサービスにたどりつく交通手段が大きな課題となっていた。いまだに断水が続いている。飲み水より、排水、洗濯、食器洗い、トイレ。組合員の仲間がコインランドリーにならんでいる。老朽化した水道管の問題だと。くわしくはわからないが、水道管の維持は、水道料金を財源としていたという。工事をすると水道料金にはねかえる。こんなバカなことが現実として起きている。能登に4つの公的病院がある。震災前に4自治体から要請があり、奥能登総合病院の検討が予定されていた。能登空港に高度急性期をともなった統合病院だ。想でも高度急性期のベッドが足らず議論されていた。震災でぎりぎりのところで奮闘している医療従事者がいる時に統合の議論はしてほしく無い。馳知事は創造的復興という言葉をよく口にする。今度も要注意だ。





